

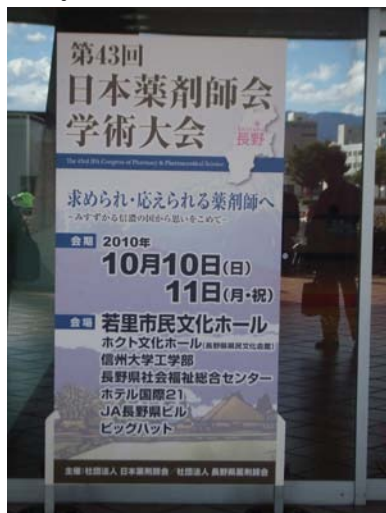
第43回日本薬剤師会学術大会に参加して

羽二生 尚身

「求められ・応えられる薬剤師へーみずずかる信濃の国から思いをこめて」をテーマに、長野県長野市のホクト文化ホール他7会場で開催された。全国から、7,500 余名の薬剤師・薬学生がこの大会に参加した。

児玉孝日本薬剤師会会長は、冒頭、開催地の長野県薬剤師会が、今年 120 周年を迎えることについて祝辞を述べ、また、本年は薬剤師法公布 50 周年ということもあり、節目の年に当たるとした。

開会式第 2 部では、日本薬剤師会賞、日本薬剤師会功労賞、日本薬剤師会有功賞の表彰式が行われた。



第 3 部では、宇宙飛行士で、日本科学未来館館長の毛利衛氏を迎え、「宇宙から見る生命のつながり」と題しての特別記念講演が行われた。同氏は、冒頭、薬剤師は、「街の科学者」と言われるが、事実に基づき物事を理解する科学的な考え方は大切である。このことを実感したのは、宇宙へ行って地球を見た時であったと述べた。講演の中で、我々に、「最近、うれしいと感じたことがありますか？」と、会場の人が数人、質問を投げかけられた。突然の質問に、啞然とし、言葉に詰まっていたが、「今日ここで、本

物の毛利さんにお会い出来て、それがうれしく思います。」と、答えた。すると、すぐに、「では、なぜ、あなたは、私と会うことが出来て、うれしいと思ったのですか？」と次の質問を受けた。これもまた、心の準備なしのことで、戸惑う様子だった。それから、次々となぜ、なぜと同氏の質問は、続いた。これは、「物事に疑問を抱き、真理をとことん追求していく事が大切とのこと」でした。



ユーモアと生真面目さ、そしてウィットに富む輝く科学者、毛利衛氏そのものでした。また、今自分のいる場所から外へ出て、外から自分の居場所を新ためて見ると、もっと別に見えてくるものがある。そこに一つの発見がある。もっと外へ、宇宙へ行けば、地球は人間の生活地ではなく、

「一つの惑星」として見る事が出来るようになる。自分を変えることができる。・・・とてもいい話でした。